令和7年度版

自立活動って

大阪府立交野支援学校 自立活動部

1 自立活動とは

障がいのある子どもたちは、日常生活や学習面で様々なつまずきが生じるため、教科教育だけでなく、 自立活動の指導が必要とされています。個々の障がいによる困難を少しでも乗り越えるために、他教科とも関連づけて、 子どもたちの実態に応じた目標(ねらい)を立て、指導を行います。

2 自立活動の目標 (北九州総合療育センター 高松鶴吉 1994年より一部抜粋)

子どもたちが自立を目指し、障がいによる困難さを改善・克服するために「育つ力を育てる」基盤を培うことです。

3 自立活動の特色

- ① 子どもを知ろう! (子どもの実態把握)
 - →情報・分析などを行い的確に実態を把握する。
- ② 実態に即した目標設定! (子どもの実態に合わせて設定。)
 - →【個別の指導計画】作成し、それに基づいて指導します。
- ③ 個々に応じた取り組みを心がけよう! (集団の中での個別指導が基本)
 - →集団の中での個に応じた指導を充実する。

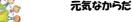
4 **自立活動の内容** (H3O 学習指導要領より抜粋)

6区分(27項目の細分)が示されている。相互に関連づけて学校生活での指導に生かします。

- (1)元気なからだ(健康の保持) 安全で安定した日常生活を図る。
- (2) こころの安心(心理的な安定) 気持ちや情緒のコントロールを維持する。
- (3) ともだち・せんせい・かぞく(人間関係の形成) みんなと学校生活をたのしむ。
- (4) 今いる自分と場所をうけいれる(環境の把握) 周囲の状況を把握し、行動できるようにする。
- (5) じぶんのからだ(身体の動き) 生活の中で適切に身体を動かす。
- (6) きもちのキャッチボール(コミュニケーション) 気持ちのやりとりを学ぶ。



きもちのキャッチボール









ともだち・せんせい・かぞく



環境の把握

5 交野支援学校では

子どもたちの「自立と自己実現」を目標に安心・安全、そして楽しく学べる指導を行っています。 自ら気づいて、やってみたい・やってみようとする授業を日々めざしています。専門性のある教員の校内巡回指導や福祉人材を活用した 専門職を招いて、子どもたちの個別的指導も行っています。楽しめる教材の1つに、(スパイダー・スヌーズレン・キャリーロコ・視線入力など)の活用も積極的に行っています。今後も子どもたちにとって、よりよい成長を促す教育実践を積極的に充実させていきます。